

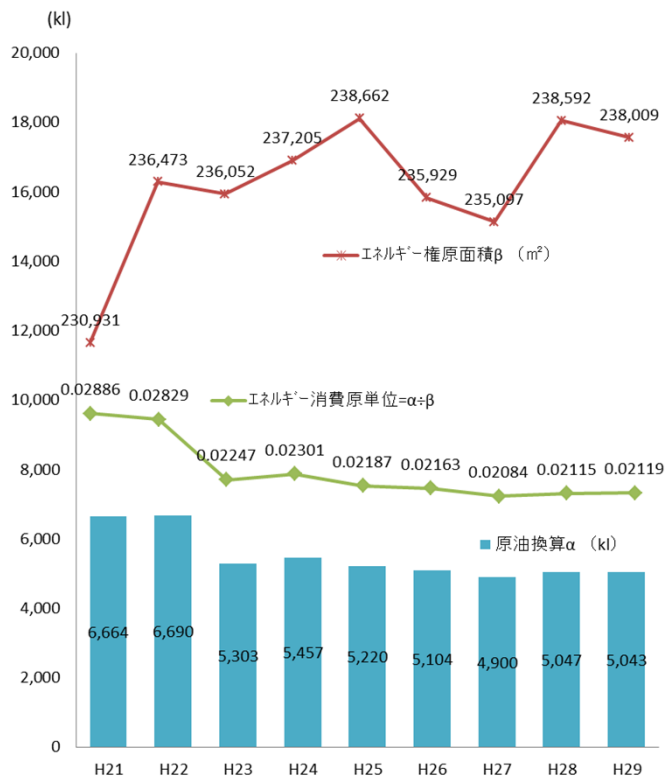
■ 環境パフォーマンスデータ

当社全体の消費エネルギー

当社では、「施設のエネルギー消費を原単位（エネルギー権原面積当たり）で毎年前年比▲1%以上削減する」という、省エネルギー法に基づいた目標を設定しています。

平成29年度も前年度に引き続き、商業施設として無理のない照明の間引きや空調温度設定等の運用上での省エネをお客様のご理解をいただきながら実行する中、照明設備のLED化等を積極的に行い、総合的な省エネルギー化に努めて参りました。

これらの結果、右表のとおり平成29年度における当社全体（※）でのエネルギー消費量の合計は、原油換算で5,043kl、前年と比較して-0.1% 4klの減少となりましたが、エネルギー権原面積も-0.2% 583㎡減少したため、エネルギー消費原単位（緑の折れ線グラフ）では、+0.2%の増加となりました。



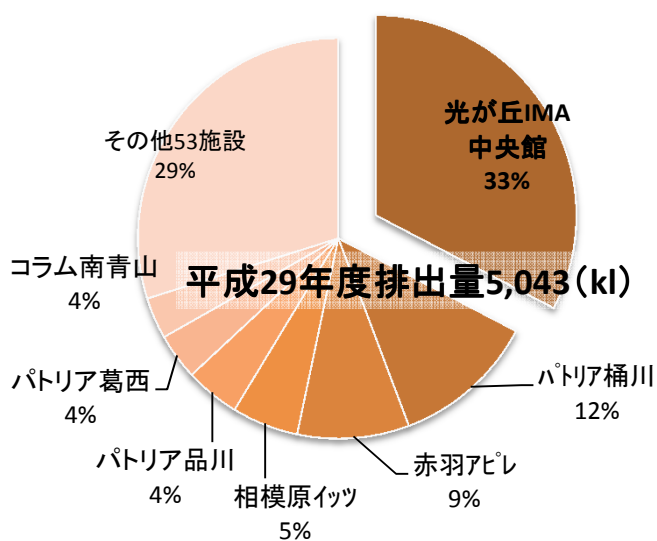
改正省エネルギー法施行後における9年間の当社エネルギー消費量(kl)及び単位面積当たりのエネルギー消費量割合

当社施設で最もエネルギー消費量（原油換算）の多い施設は「光が丘IMA中央館」（東京都練馬区）であり、当社全体（※）の33%を占めています。

「光が丘IMA中央館」は、省エネルギー法上の「エネルギー管理指定工場」、東京都環境確保条例上の「特定温暖化対策事業所」に指定されており、当社の目標達成において、最も重要な事業所として位置付けています。

次いで「パトリア桶川」（埼玉県桶川市）は、埼玉県地球温暖化対策推進条例上の「特定温暖化対策事業所（C）」の取扱いとなっており、2番目にエネルギー消費量が多い施設です。

（※）省エネルギー法によるエネルギー権原を有する範囲。



省エネルギー法によるエネルギー権原を有する60施設のエネルギー消費割合